

科目名 Subject	伝承美（華道） Traditional Art -Flower Arrangement			教員名	松崎 美穂	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	○			◎	◎	
科目の概要	日本の伝統文化は、自然中心であり、モラルとしてのその芸術意識は、世界に類例のない芸道精神を土台としています。人間と自然に於ける正しい共存の在り方を日本の伝統美〔華道〕という造形芸術を通して理解します。 構成図や構成表を用いて論理的に展開していく授業の中で、理論に基づいた実技を学ぶことにより、日本独自の造形美や華道の中に息づく精神美を習得します。					
授業方法	対面授業で行われますが、感染状況によりオンライン授業へ変更となる場合があります。					
授業の目標	一般教養としての日本の花道史、生活芸術としての華道を学ぶことにより、華道に息づく精神美と実際に自ら実技を行うことにより習得する技術が美意識を高める。それと共に自然との共生を大切にする華道精神を理解することで、人間関係を改めて見つめ直しコミュニケーション能力やホスピタリー精神の必要性を実感し行動できる。更には習得した知識や美意識をコミュニケーション能力とホスピタリティー精神を活かし、社会生活において伝え理解してもらうことで、多様な人々の社会的・文化的背景を理解し尊重することができる。また、花芸作品の作成や花の管理などは、培った知識と技術により、今後の生活の中で具体的に役立たせることができる。					
時間外学習（予習・復習）	毎回の授業で学ぶ講義内容、実技内容（構成図や構成表の説明を含む）の予習・復習を行う。持ち帰った花材を使って実技の再現をする。毎回の予習・復習については60分を想定しています。					
教科書・教材	教科書		書籍名：花芸安達流 演習ノート「水」 著者：安達瞳子 発行：株式会社花芸			
	教材		筆記用具 色鉛筆 タオル			
	使用設備・備品		花器 花鋏 剣山 花盆 ポウル			
	参考文献		花芸安達流著書全書			
評価方法	平常点（毎回の課題点、授業態度）50％ 試験50％					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	植物アレルギーなどがある生徒は、事前に報告すること。					
本科目履修と関連する資格	資格名	花芸安達流 入会「水」の修了書				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション・花寄せ	華道の授業に臨む心構えや進め方を理解し、グループに分かれての作品制作により華道の世界を実感することができる	配布のプリント（20分） 持ち帰り花材による再制作（40分）
第 2 回	花芸作品を制作するにあたってのプロセスの大切さを学ぶ	作品を完成させるためのプロセスの大切さを実際に制作することで理解し実践することができる	演習ノートP6、P31（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 3 回	季節の行事に合わせその歴史的背景や文化を学ぶ	日本古来の文化や風習を歴史的背景と共に学ぶことで、華道の流れを理解し説明することができる	配布のプリント（20分） 持ち帰り花材による再制作（40分）
第 4 回	花芸作品を演習するために必要な構成図について学ぶ	構成図（正面図と平面図）の必要性と具体的な見方を理解し実践することができる	演習ノートP7、P31、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 5 回	素材（花材）の自然な姿を尊重した作品を生けることを学ぶ	人と自然との共生を理解した上で、花材の特性を理解し実践することができる	演習ノートP8、P31、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 6 回	花芸作品の美的なバランス感覚を学ぶ	日本と西洋の造形上の美的バランスの違いを理解し実践することができる	演習ノートP9、P31、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 7 回	花芸安達流の構成三原則である〈五態〉について学ぶ	植物独自の生態や形態による〈五態〉の違いを理解し説明することができる	演習ノートP10、P31 配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 8 回	花芸安達流の構成三原則である〈文法〉について学ぶ ～part1～	花芸作品を演習するにあたり、花材に役を定めることを理解し説明することができる	演習ノートP11、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 9 回	花道史、並びに花鋏について学ぶ	花道史を日本の歴史的背景と併せて理解し説明することができる	演習ノートP21、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 1 0 回	植物の生態について学ぶ	植物の生理現象である〈水揚げ〉の仕組みなどを学び植物の管理方法を理解し実践することができる	演習ノートP22、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 1 1 回	花芸安達流の構成三原則である〈文法〉について学ぶ ～part2～	〈文法〉で学んだ主要三格の美的バランスを理解し説明することができる	演習ノートP23、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 1 2 回	素材（花材）と花器のバランスを学ぶ	前回学んだ素材（花材）間のバランスに加え、花器と作品のバランスも理解し実践することができる	演習ノートP24、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 1 3 回	花芸安達流の構成三原則である〈原型〉について学ぶ	〈原型〉を理解することで理論的に花芸作品のバランスを理解できるようになり具体的に説明することができる	演習ノートP25、配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 1 4 回	グループに分かれ〈連花〉を演習する	共同作業をすることで他者を受け入れ理解しその効果を実感し、コミュニケーション能力の大切さを説明することができる	配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）
第 1 5 回	授業の総復習と花束制作	華道の授業で会得した理論的な演習法、美的バランス、自然や社会との共生のあり方などを理解し述べるることができる	配布のプリント（30分） 持ち帰り花材による再制作（30分）